

公開シンポジウム 「新薬学教育における学士力、博士力」

1. 主 催：日本学術会薬学委員会薬学教育分科会、日本薬学会
2. 日 時：平成 22 年 11 月 22 日（月）13:00～17:00
3. 場 所：日本学術会議 1F 講堂

4. 開催趣旨：

日本学術会議薬学委員会では「6年制教育の充実」と「日本の創薬力向上」の二点を主な活動指針としております。薬学教育は、平成 18 年度から、高度な医療を担うことのできる薬剤師の育成を目指した 6 年制学科と創薬研究などの幅広い領域で活躍する研究者の育成を目指した 4 年制学科の並立による新しい制度が開始され、教育改革及び教育環境の整備が推進されてきました。さらに、平成 21 年度には新制度における 4 年生学科が完成年度を迎え、平成 23 年度には 6 年制学科が完成しようとしています。このような状況の中で、薬学教育分科会では、社会の要請に対応できる、6 年制および 4 年制薬学教育の体系について検討するとともに、創薬研究者・技術者、薬剤師、臨床（育薬）研究者、環境衛生分野や行政で活躍する人材などを含む、魅力ある医療人を育てるための諸方策を推進することを目的として、活動を行ってきました。

今回のシンポジウムは、我が国の薬学における創薬力および育薬力を高めるため、4 年制および 6 年制薬学教育が現在直面している諸問題について検討し、薬学教育のあり方について、広く意見交換を行うことを目的に企画しました。

5. 次 第：

13:00～13:15 開会あいさつ

松木則夫（日本学術会議連携会員、東京大学大学院薬学系研究科教授、日本薬学会会頭）

橋田 充（日本学術会議第二部会員・薬学委員会委員長、京都大学大学院薬学研究科教授）

シンポジウム

13:15～13:30 イントロダクション

赤池昭紀（日本学術会議連携会員、京都大学薬学研究科教授）

13:30～14:00 大学改革の進展と課題

榎本 剛（文部科学省高等教育局企画官・高等教育政策室長）

14:00～14:30 薬学教育評価と学士力

井上圭三（帝京大学薬学部教授、薬学教育評価機構理事長）

14:30～15:00 薬学の学士力、博士力に望まれる新しい研究・教育領域：いわゆるレギュラトリーサイエンスと新薬開発領域への新たな展開
黒川達夫（千葉大学薬学研究院教授）

15:00～15:15 休憩

15:15～15:45 6年制学科に続く大学院（博士課程）の構築
橋田 充（日本学術会議第二部会員・薬学委員会委員長、京都大学薬学研究科教授）

15:45～16:15 4年制学科に続く大学院（修士課程、博士後期課程）の構築
長野哲雄（日本学術会議連携会員、東京大学薬学系研究科教授）

16:15～16:45 新薬学教育と薬剤師職能
鈴木洋史（日本学術会議連携会員、東京大学医学部附属病院薬剤部教授）

16:45～17:00 まとめ
太田 茂（日本学術会議連携会員、広島大学医歯薬総合研究科・教授）

★参加費無料、事前申し込み不要です。

★連絡先：

赤池昭紀

京都大学薬学研究科薬品作用解析学分野

TEL 075-753-4550

E-mail aakaike@pharm.kyoto-u.ac.jp